

土木学会四国支部「土木紀行」No.73(愛媛県)

～ 西予市にある旧開明学校校舎 ～

重要文化財（建造物）として指定されている旧開明学校校舎(きゅうかいめいがっこうこうしゃ)は四国最古の小学校だそうです。現在、重要伝統的建造物群保存地区として選定されている西予市宇和町卯之町にあります。

開明学校は明治5(1872)年の開校で、現在教育資料館として公開活用されている旧校舎は明治15(1882)年に旧三崎町(現伊方町)の大工都築熊吉(つづきくまきち)が棟梁となって建てたものです。

旧開明学校校舎は、地元の大工の手によるアーチ形の窓等の外観にわずかに洋風の意匠を取り入れた特異な擬洋風の学校建築の代表的な構造で、国の小学校制度が整備される直前の時代背景をよく表す簡素な造りの校舎建築の遺構として学校建築の歴史を知る上で貴重な建築物だそうです。

開明学校の前身は1869年(明治2年)に左氏珠山の門下生や町民の有志により建てられた私塾申義堂であったそうです。1872年(明治5年)に申義堂を校舎として開明学校が開校し、1882年(明治15年)に現存する校舎が竣工しました。その後、校名や用途をたびたび変更し1976年からは教育資料館として、戦前の教科書と学校経営資料など約6000点を展示しています。

また、旧開明学校校舎は、木造2階建、棧瓦葺きで、窓枠をアーチ状にする等、わずかに洋風の意匠を取り入れた擬洋風建築です。地元の大工によって建築された擬洋風建築で、建築史上において教育史上に価値が高く、また、屋根裏から発見された「開明学校新築始末書」という銘札から建築の時期と事情が分かります。歴史的価値の高いものとして評価され1997年5月に国の重要文化財に指定しました。

明治5年に建築されたにも関わらず、同時の様子を思い浮かばせるほど綺麗に維持させていて西予市民の地域の文化を守る意識が感じさせられました。



旧開明学校校舎の外観



校舎の中の様子

参考文献) 愛媛県教育委員会ホームページ <http://ehime-c.esnet.ed.jp/>

調査・執筆担当：

愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻環境建設工学コース
一回生 仲健太郎

土木学会四国支部「土木紀行」 <http://doboku7.sakura.ne.jp/kikou/kikou.htm>

土木学会四国支部 <http://www.jsce7.jp/>